

クラブ運営方針及予算

公式訪問報告書

(2024.7～2025.6)



国際ロータリー第2700地区

太宰府ロータリークラブ

RID2700 DAZAIFU Rotary Club

国際ロータリーテーマ

「ロータリーのマジック」

2024～2025 年度

国際ロータリー会長

ステファニー A. アーチック

McMurray ロータリークラブ
(米国ペンシルバニア州)



2700 地区テーマ

「変化につよく、未来をひらく」

2024～2025 年度

国際ロータリー第 2700 地区ガバナー

野 崎 千 尋

(小郡ロータリークラブ)

太宰府ロータリークラブ 2024-25年度

役員・理事 及び 委員名簿

役 員	
会 長	福 田 隆 一
副 会 長	井 上 孫 紹
幹 事	有 村 康 博
副 幹 事	神 代 憲 暁
会 計	用 松 信 彦
直前会長	影 山 裕 樹

理 事	
クラブ運営	川 添 廣 志
会員基盤	上 田 宰
会報・広報	塩 月 啓 司
奉 仕	前 田 健 吾
財団・米山	田 代 雅 人
長期計画	阿 部 隆 雄

常任委員会	常任委員長	特定分野委員会 担 当	特定分野委員長	副委員長 担 当	委 員		
クラブ運営	川添廣志	S・A・A	川添廣志	藤井俊雄	永田 剛	谷川寛光	
		出 席	東 龍児	小柳壮司	寺崎盛行	吉田知子	
		親 睦	石井昌憲	岡本ゆかり	廣松正道		
		プログラム		三條裕士	三條裕士	外木場大倫	
会員基盤	上田 宰	会員増強	上田 宰	満永淳子	鬼木信乃夫	間野正衛	
		会員選考	—	中西英貴			
		職業分類	—	時札正文			
		会員研修	—	浦田秀徳	塩月啓司 (クラブラーニングファシリテーター)		
		Rotary情報	—	今村次美			
会報・広報	塩月啓司	週 報	塩月啓司	原口昌夫	永田 剛	谷川寛光	
		情 報 誌	—	下田幸子			
		広報・公共 イメージ・WEB	—	原口昌夫			
奉 仕	前田健吾	職業奉仕	馬場宣行	宮原博幸	萩尾紘一	堀 悠祐	
		社会奉仕	森田正嗣	武宮兼敏	圓藤泰久		
		青少年奉仕	前田健吾	堀 悠祐	長井士郎		
		国際奉仕	西中義桂	牧田 隆	新田光太郎		
財団・米山	田代雅人	Rotary財団	—	田代雅人			
		補助金PJ・ポリオ	—	下田幸子			
		米山奨学会	—	鬼木信乃夫			
長 期 計 画	阿部隆雄	—	—	—	影山裕樹	福田隆一	井上孫紹
					用松信彦	有村康博	神代憲暁
危機管理	有村康博	下田幸子			会計監査	西川 勲	
ソングリーダー		用松信彦	馬場宣行	塩月啓司			

RI 2700地区 地区委員

社会奉仕委員会 委員	牧田 隆
Rotary財団委員会 副委員長	川添廣志
米山奨学委員会 委員	原口昌夫

青少年奉仕委員会 委員	東 龍児
ロータリーフェローズ2700委員会 委員	今村次美

クラブの現況

1. 創 立 1977（昭和 52）年 5 月 11 日 チャーターメンバー：承認時 28 名

2. 例会・定例行事

(1) 例 会 毎週火曜日 12：30 — 13：30

筑紫野市湯町 1-20-1 大丸別荘内

(2) 定例行事 理事会：毎月第一例会終了後

誕生祝：毎月第二例会中 全員で誕生祝いの歌を歌い、
該当者にプレゼントを渡す

3. 会 報

(1) 週 報 例会毎に配布 別紙のとおり

(2) 年 報 年一回発行 別紙のとおり

4. 会員の状況（2024 年 7 月 1 日時点）

(1) 会 員 数 45 名 うち女性会員 4 名

(2) 会員年齢構成

平均年齢 65 歳 2 ヶ月

最年長 90 歳 最年少 40 歳

90 歳台 1 名 80 歳台 6 名 70 歳台 11 名

60 歳台 12 名 50 歳台 9 名 40 歳台 6 名

5. 出席率 2023 - 2024 93.25%

上記年度皆勤者 18 名

6. 理事、役員、委員会の構成 巻頭「理事・役員および委員名簿」のとおり

7. 理事、役員、委員会の決定

本年度の理事は、当クラブの細則第 3 条第 2 項に従い、2023 年 12 月 19 日の年次総会において選考・発表されることによって決定した。役員は、決定された理事による互選によって、前掲の通り、決定した。

8. 会 計

(1) 会計監査

西川 勲君により、適正に運営されているとの監査意見を頂戴している

(2) 収支・予算対比の状況

別紙、「2023-2024 年度 決算書」のとおり

9. 前年度の寄付

(1) ロータリー財団（2024. 6. 30 時点）

① クラブ一括寄付

R 財団 100 ドル／人 × 45 名 = 4500 ドル（レート 151 円）

ポリオ 3,000 円／人 × 45 名 = 135,000 円

② 個人寄付

PHS (ポールハリスソサエティ)	3名	@1,000ドル	453,000円
PHF (ポールハリスフェロー)	1名	@1,000ドル	151,000円
年次寄付その他	21口		74,937円
PPS (ポリオプラスソサエティ)	5名	@100ドル	75,500円
ポリオプラスその他	21口		81,413円
合計			835,850円

(2) 米山記念奨学会 (2024.6.30 現在)

	上期	下期
① クラブ一括寄付	4,000円 × (46	+ 45) = 364,000円
② 個人寄付		421,497円

10. 前年度の表彰者

ロータリー財団寄付	PHF	前田健吾	塩月啓司	川添廣志	時札正文
米山功労者		牧田 隆	時札正文		

11. 奉仕事業

R財団補助金事業	:	“ColorFul~HappyFull” 不登校児と保護者のための総合支援
豊かな自然プロジェクト	:	『守ろう宝満山の自然』かえるの絵 作品展
曲水の宴に留学生を招く会	:	交換留学生とホストファミリー 5組 IAC 7名 米山奨学生 カウンセラー 5組
宝満宮竈門神社 石楠花植樹祭	参加	10人
太宰府天満宮境内清掃活動	参加	16人

12. 留学生

① 交換留学生	2024-2025年度	カナダから女子学生を受け入れ予定
② 米山留学生		
	2024年3月まで	韓国 イ・ドンソプ君 九州大学大学院博士前期
	2024年4月から	スリランカ シャーリーニーさん 九州大学大学院博士前期

RI会長メッセージ



『ロータリーのマジック』

(The Magic of Rotary)

2024 ～ 2025 年度

国際ロータリー会長 ステファニー A. アーチック

McMurray ロータリークラブ 米国ペンシルバニア州

アーチック氏は女性として史上二人目の国際ロータリー会長。1991年にロータリー入会して以来、ベトナムに赴いて小学校建設を援助したほか、ドミニカ共和国では浄水フィルタの設置を援助。複数のスラブ系言語を学び、ウクライナの新ロータリアンへのメンタリングやポーランドでのロータリー財団補助金プロジェクトの調整役も担い、RI 理事、財団管理委員、RI 戦略計画委員長、財団 100 周年祝賀委員長を歴任。会長ノミネーを指名された時点では、選挙審査委員会と運営審査委員会の委員を務める。ロータリー財団のメジャードナー、遺贈友の会会員。

コンサルティングと研修を専門とする Doctors at Work LLC 社の共同経営者兼最高執行責任者。ペンシルベニア州立インディアナ大学でリーダーシップ学の博士号を取得。地域社会で数々の団体の理事を務め、Zonta International や Sons of the American Revolution といった団体から表彰を受けている。

「新型コロナウイルスの大流行、気候変動による災害、多くの地域での紛争など、世界が非常に大きな課題に直面する中で、これらの課題を乗り越えるためのビジョンとプランをロータリーが提供できる」と、アーチック氏は言います。「危機的な課題を乗り越え、解決するためにロータリーのリーダーたちが取る措置は、組織を強くし、将来の出来事に対する組織の回復力を高めるもの」であり、「このような重要なリーダーシップは、奉仕し、危機を解決するためにロータリアンが行動人として力を合わせるなら、それがライバル同士であっても、新しいレベルの協力を生み出します。組織再編を優先することが極めて重要だ」と述べられています。「ロータリーは 200 以上の国と地域で活動しています。ロータリアンが協力して奉仕や高潔性の推進、世界理解と親善、平和の推進に取り組む上で、地域差が及ぼす影響を理解し、それに対応することで、ロータリーはより効率的、効果的になる可能性を秘めています。そのことを認識することがとても大切です」と語られました。

会長イニシアチブ

1. 最優先課題は会員増強を図る行動計画を推進すること
*3-Years Rolling Targets (3年間の目標) への取組み
2. ロータリーのマジック ～クラブでの体験を魅力的なものとする～
*ロータリーの行動計画、ロータリーの強さを維持するため
3. 積極的な平和を通じて分断された世界を癒やすこと
*4つのテストの重要性・ピースポール (平和の塔) プロジェクトの推進
4. 継続性 ～前任者や後任者と協力すること～
*クラブが取り組んで来たことやクラブに根付いていることに目を向けること

ガバナーメッセージ



『変化につよく、未来をひらく』

2024～2025年度

第2700地区ガバナー 野崎千尋

1. 第2700地区の目指す姿

(1) 出会い楽しく 例会楽しく 奉仕楽しく

ロータリーの例会は、その職業業務の多忙と緊張の連続の中にもありながらも会員候補者及び会員の秘めたる善意を発掘し、善意に奉仕という方向付けを行い、実践へ勇気を与えることに意義があります。私が入会した頃には「入って学び、出でて奉仕せよ」(1919年：国際協議会)の標語が大切にされていました。その意味でロータリーは「人間成長の学び舎であり、奉仕の学校」であると考えています。

(2) ロータリーを強く大きく 良樹細根 大樹深根

衛星クラブの設立は地区内8クラブで実現し、設立検討中のクラブも複数あり、国内では衛星クラブ最先進地区です。従来のローターアクトに加えて大学基盤の学生を対象としたローターアクトが設立しました。また、新しい形態のクラブ設立の調査・検討の段階にあり、新クラブ設立準備委員会・新設クラブの支援と活性化のための「新設クラブ日本一基金」を創設します。

この20年、入会者数を上回る退会者がでる傾向が続いていましたが、第2700地区では減少傾向から増加傾向に転じ始めました。入会者の善意の灯を守れなかった要因は幾つかありますが、帰属意識を涵養できていない事も挙げられます。ローターアクトクラブに地区活動参画の機会を広げ、衛星クラブの活動交流会の開催、新会員対象の研修会と交流会の開催に地区としてのイニシアチブを発揮します。“出席すれば親睦生まれ、親睦生まれれば奉仕生まれ、奉仕生まれれば感動生まれる”、このような好循環を築いていきましょう。

(3) 手を取り合って変化を作り出そう

「不易流行」の変わらない事と変わるべき事を認識し、「継続と変化」に取り組めます。変化をマネジメントするアプローチの軸に変化の影響を受ける人やグループに置き、丁寧なコミュニケーションを図る事とコミットメントを果たします。

(4) 世界で、地域で良いことをしよう

国際ロータリーはロータリー財団を通して「世界で良いことをしよう」のスローガンの下に世界理解、親善、平和を達成する事を使命としています。このミッションを果たすためにはそれ相応の人的資源・財務基盤も必要になります。そのためには第2700地区の足腰を強くすることも大切です。ここで申し上げる「足腰」とは言うまでもなく会員維持と増強であり、それによる安定的な地区資金の確保と健全な財政の確立、そしてロータリー財団と米山奨学会の基金への支援・協力であります。二宮尊徳は「道徳を忘れた経済は罪悪であり、経済を忘れた道徳は寝言である」と箴言を残しています。後段の下りを「人的資源・財政的基盤を忘れた奉仕理念は寝言である」と言い換える事が出来ます。クラブを元気づける、クラブの活性化、これらの取り組みによって会員基盤の強化と会員増強につなげ、その力でロータリー財団と米山記念奨学会を支援して社会に奉仕していきましょう。

2. 第2700地区の優先事項

(1) より大きなインパクトをもたらす

- ①ロータリー財団の支援：年次基金寄附一人当たり150ドル、ポリオプラス寄附一人当たり30ドル
支援実現の下支えとして、ポール・ハリス・ソサエティーの会員拡大15人増/年、ポリオ・プラス・ソサエティーの会員拡大30人増/年を目指します

②ロータリー米山記念奨学会への寄附：個人平均寄付額17,000円、特別寄付者割合36%

国際親善と世界平和に貢献するために外国人留学生を支援します

③グループ単位のロータリー奉仕デー

ガバナー補佐、広報・公共イメージ委員会が協力して、インターアクトとローターアクト等へ呼びかけて実施します

④障がい者福祉・スポーツ分野の講演や卓話を取り組みます

⑤公式訪問例会は節食ランチを提唱

クラブで現在実施されている回数、プラス1回をお願いします

(2) 参加者の基盤を広げる

①会員増強：年度平均 3,200 人を確保するために、年度中に3,300人達成

上半期に会員増強活動を集中的に行い、新会員研修・交流会、IMでの新会員紹介へ繋げていきます

②「新設クラブ日本一基金」(300万円)を創設

衛星クラブの設立、大学基盤のローターアクトの新設、会員増強委員会の調査、検討を踏まえて設置する「新クラブ設立準備委員会」の活動推進などあらゆる形態のクラブ設立と設立後の活動の活性化を支援します

③オープン例会

新会員候補者に扉を開き、会員も新たな気付きを得る場として、開催したクラブへの補助金(30,000円)を継続します

④「豊かな自然プロジェクト・10」

地区からの補助金(1クラブ10万円、最大10クラブまで)を継続し、ロータリーのすそ野を広げるために、参加者に20%の会員以外の市民参加を要件に加えます

(3) 参加者の積極的なかわりを促す

①第2700地区クラブ活性化セミナー

2024年7月13日(土)に広報公共イメージ、財団、会員増強、クラブ運営支援の4委員会で合同開催します

②地区内3カ所での新会員研修・交流会

9・10月にロータリー情報委員会と連携して開催します

③ローターアクトの地区活動への参加促進

PETSへ地区代表、地区研修・協議会と財団セミナーへRAC代表の出席を要請し、情報と交流の機会を提供します

④衛星クラブの活動交流会(議長・幹事会)

クラブ運営支援委員会のサポートにより、初回は地区研修・協議会の分科会で、2回目は上半期末に開催します

⑤各IMで「ロータリーの歴史に学び、未来をひらく」を共通テーマにした講演

2025年2月23日はシカゴRC誕生から120年の節目として、ガバナー補佐、ロータリー情報委員会と連携して取り組みます

⑥クラブフォーラム

会員同士又は奉仕活動についての有益なコミュニケーションの機会になります

⑦カルガリー国際大会(カナダ)への参加

2025年6月21日～25日に開催、地区目標30名の参加を推進します

(4) 適応力を高める

①My-Rotaryの登録と活用の推進

DX推進委員会と連携して取り組みます

②クラブ優秀賞(現ロータリー賞)の受賞

クラブセントラルを活用し、全クラブが受賞できるよう継続します

③地区・クラブのICTの導入支援

DX推進委員会と連携して取り組みます

④継続性のある中期的な活動

RIの「3年間の目標」と2025年7月スタートの地区新5ヶ年計画を整合させながら策定します

⑤効果的で効率的な地区組織運営

適時に地区規程の見直しを含む改変を行います

2024-2025 年度 会 長 運 営 方 針

会 長 福 田 隆 一



私たちは、日々の活動や仕事を通じて、自分自身に、そして地域社会に対して、少なからず影響を与えています。

それは、いつかはうねりとなり、大きな変化へとつながるものだと信じています。

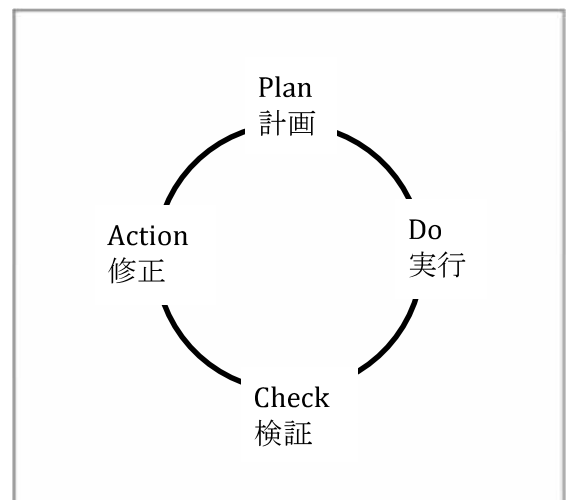
本書P4～P6に、RI会長 および 2700 地区ガバナーのメッセージが記載されております。

それらを噛み砕いて、今年度の太宰府ロータリークラブの活動テーマを以下のように提案させて戴きます。

活動テーマ： 「嬉し、楽し、誇らし」

1. 参加するのが 嬉しい、楽しい、誇らしいクラブにしよう

- 毎週の例会を、実りある、楽しい例会にしよう
 - ・ テーブルでの会話が楽しい
 - ・ キビキビとした司会・進行が嬉しい
 - ・ 入念に準備された卓話に気づきがある
- 委員会活動を充実させよう
 - ・ 頻繁に集まり、語りあおう
 - ・ 活動のPDCAをぐるぐる回そう
 - ・ 活動内容を定期的に例会で報告しよう
- クラブ行事に積極的に参加しよう
 - ・ 夜間例会
 - ・ 奉仕活動
 - ・ 炉辺会合
- 例会以外の場での交流機会をふやそう
 - ・ ゴルフ同好会
 - ・ 写楽の会
 - ・ 山歩きの会
 - ・ 旅行（日帰り、一泊二日）



2. 太宰府ロータリークラブを外部へアピールしよう

- Webサイトに活動状況をアップしよう！
- 新聞、テレビ等への露出を増やそう！
- 奉仕活動は “End Polio Now” のTシャツ を着用して！
- 資金的に余裕のある人は「寄付」を、体力と時間のある方は「活動」を
どちらでもない方は、奉仕活動を行う仲間に「エール」を！

3. 会員であることの楽しさ、誇らしさを周りに広げよう

- 伝統を受け継ぐ若い仲間を増やそう
(目標：2025年6月末 会員数 50名)
- 会員拡大は、長期的な視点を持って、会員各自が「この人なら！」と
思う人を会員候補者としてリストアップしよう！
- 会員候補者の情報は、会員間で共有し、あらゆる角度、切り口から
アプローチしよう
- 会員候補者へのアプローチは、都度記録し、引き継ごう

2024-2025 年度 幹 事 運 営 方 針

幹 事 有村 康博

数年前、当時の浦田会長より入会式において、ロータリーバッジを付与されました。

以来、S A A と社会奉仕委員会に所属していましたが、昨年副幹事を仰せつかり、今年度幹事を迎えました。いまだに、他の委員会の役割やクラブ運営の手続きなど知らないことが多く、会員や事務局に御迷惑をおかけしています。

今までR C を外から見ていた観がありましたが、R L I や地区研修・協議会に参加して、内から見るべきではないかと感じるようになってきました。

R I の理念や目的、地区メッセージには共感し、地区とクラブリーダーはロータリアンとしての覚悟と情熱を持つよう求められています。私はその器でないことは承知していますが、運営に関しては、クラブの身の丈にあった、背のびしない、分相応の活動や奉仕を心がけていきたいと思っています。

太宰府ロータリーの現状は、会長経験者をすべて常任委員長に配置するなど、精通者に偏っていますが、今後若手会員の役員・理事への登用も急がれる課題です。

そのためにも、各委員会との協調・連絡は欠かせません。各委員会の開催回数を増やし、さらに風通しを良くする必要があります。

さらに会長方針の「参加するのが嬉しい、楽しいクラブにしよう」をめざして運営してまいります。

ポイント

- ・いつでも開かれた風通しのよい運営
- ・ルールに従い、適切なクラブ運営
- ・クラブ規模に応じた適正な活動
- ・各委員会との連絡・協調

クラブ運営委員会

常任委員会	常任委員長	特定分野委員会 担 当	特定分野委員長	副委員長 担 当	委 員		
クラブ運営	川添廣志	S・A・A	川添廣志	藤井俊雄	永田 剛	谷川寛光	
		出 席	東 龍児	小柳壮司	寺崎盛行	吉田知子	
		親 睦	石井昌憲	岡本ゆかり	廣松正道		
		プログラム	—	三條裕士	三條裕士	外木場大倫	

常任委員長 川添廣志

運営方針

会員がクラブの目的と同時に自己実現ができるよう、基盤の強化に努めます。
例会に魅力を感じ、また会員が心の安心を感じられるような例会を目指します。

活動計画

会員理解のための会員卓話を行います。
月間プログラム、次週のプログラムを予告し、理解と出席を呼びかけます。
学びと成長が奉仕の実践につながるよう呼びかけます。
出席率95%（ホーム出席90%）を目指します。

達成目標

S・A・A 委員長 川添廣志

運営方針

例会が活気があり、楽しくなるように運営を行います。

活動計画

- ①司会、ニコニコ箱発表、ロータリーソング等の担当を事前に決め、12時30分からの例会のスムーズな進行が出来るようにします。
- ②時間調整等を、会長、幹事と決め、13時30分に確実に閉会できるようにします。
- ③四つのテストの体操、唱和等の担当者、委員会報告者を事前に把握、連絡し例会の進行をスムーズにします。
- ④ニコニコ大賞（毎週候補を選出する）を年2回発表します。
- ⑤私語、携帯等のマナー違反について、例会開始時に注意を促します。

達成目標

ニコニコ箱目標100万円に努めます。

出席委員長 東 龍児

運営方針

出席委員会、クラブ運営委員会ですっかり連携を図り、会員一人一人が本当の意味でロータリアンとして自覚を持って出席をする為に何が常にか常に考え、運営します。

3K（来て、食って、帰る）と言われないように！

活動計画

- ①出席率向上の為、出席委員会全員で活動計画を練り、実行します。
- ②定期的に出席率の途中経過を報告し、目標達成に向けて呼びかけます。
- ③他委員会との連携。

達成目標

- ①出席率95%、ホームクラブ90%以上。
- ②無断欠席を無くす。欠席連絡は前週の金曜日16時までの徹底。

親睦委員長 石井昌憲

運営方針

会長の参加するのが楽しいクラブにしようを念頭に置き例会では、いかに友情を深め、真の親睦が保たれる環境整備に努力します。

活動計画

- ①SAAと連携すると共にゲストビジター、会員を笑顔でお迎えします。
- ②会員の誕生日、毎月2週目に心のこもったお祝いの品を用意します。
- ③夜間例会・家族参加では心のこもったお祝いの品物を用意します。
- ④夜間例会では家族参加で心を打ち解けあえ、会員家族が楽しめる活動を企画実行します。
(3月・6月・10月・12月)
- ⑤各委員会の会合に積極的に交流機会を試みます！

達成目標

友情を深め楽しく、強い会員基盤を作る為に親睦の輪を広げていく！

プログラム担当 三條裕士

運営方針

卓話をきっかけとして、会員と卓話講師の輪が広がり、会の活動がより活発になるように心掛けていきます。

活動計画

各委員会の卓話を充実し、委員長との連絡を取っていきます。

達成目標

前向きな質疑が生まれやすく、人生に役立てられる卓話を目指していきます。また会員の増強も意識していきます。

会員基盤委員会

常任委員会	常任委員長	特定分野委員会 担 当	特定分野委員長	副委員長 担 当	委 員		
会 員 基 盤	上 田 宰	会員増強	上 田 宰	満永淳子	鬼木信乃夫	間野正衛	
		会員選考	—	中西英貴			
		職業分類	—	時札正文			
		会員研修	—	浦田秀徳	塩月啓司 (クラブラーニングファシリテーター)		
		Rotary情報	—	今村次美			

常任委員長 上田 宰

運営方針

1. 新会員の入会促進
2. 特定分野委員会その他関係委員会との連携を図り会員の定着に努めます。

活動計画

1. 卓話（新会員の入会促進、会員定着、ロータリー情報）
2. 特定分野委員会合同で情報交換会を行い、会員研修と退会防止に努めます。
3. 特定分野委員会の活動を理事会に報告します。

達成目標

会員増強委員長 上田 宰

運営方針

新会員の入会促進と退会防止

活動計画

1. 卓話（新会員の入会促進、会員定着）
2. 地区別に新会員候補者リストを再確認します。
3. 新会員候補者を例会に招待します。
4. 関係委員会と連携し退会防止に努めます。

達成目標

2025年6月末 会員50名

会員選考 担当 中西英貴

運営方針

推薦された新会員候補者のロータリアンとしての適合性を慎重に選考します。

活動計画

会員基盤委員長、会員増強委員、職業分類担当者とともに、推薦された新会員候補者の適格性を協議して判断し、クラブの活力向上につながるよう努めます。

達成目標

新会員をお迎えして互いの尊厳を尊重し、より情緒豊かな集いを目標とします。

職業分類 担当 時札正文

運営方針

一業種一名の規定はなくなっていますが、ロータリーの職業奉仕の観点からは職業分類は必要と考えています。時代の変化に対応した職業分類を確認・点検をします。

活動計画

時代の変化に対応した職業分類に見直しをします。

会員候補者を職業分類表に基づき選定を行い理事会へ報告をします。

新会員配布用冊子作成

会員名簿作成（新会員をシールで配布する）

達成目標

職業分類の見直しについて協議します。

会員研修 担当 浦田秀徳

運営方針

クラブ研修リーダーとして、会長・幹事・理事会、ロータリー情報担当、その他委員会とともに、次の活動を行います。

活動計画

- a) 各会員にとってロータリーの活動に必要なクラブ内の研修を企画、計画し、その実施をします。
- b) 地区、R I が企画する研修に、出席が必要な会員を選出し、それを本人に通知し出席を促します。
- c) これらの研修の実行と効果の確認を行い、理事会に報告します
- d) 入会1年未満の新入会会員に、入会時に必要な資料の提供とオリエンテーションを行います。また入会后、随時、オリエンテーションを行い、クラブに溶け込めるように援助します。

達成目標

1. 各会員にとってロータリーの活動に必要な研修ができるようにします。
2. 新入会員がクラブに溶け込めるようにします。

Rotary情報 担当 今村次美

運営方針

会員研修担当と協力し、オリエンテーションの中でロータリー情報を提供していくことによりロータリーの思想（奉仕の理想）について共に考えていきたいと考えます。

活動計画

1. 3年未満の会員と懇談会をもち、ロータリーの理解と責務の涵養に務めます。
（2025年4月15日予定）
2. ロータリー月間に卓話を行います。（2025年4月15日予定）
3. 各委員会と協力して情報の提供をはかります。

達成目標

多くの情報収集を行い発信することで、会員の意識向上を目指します。

会報・広報委員会

常任委員会	常任委員長	特定分野委員会 担 当	特定分野委員長	副委員長 担 当	委 員		
会報・広報	塩月啓司	週 報	塩月啓司	原口昌夫	永田 剛	谷川寛光	
		情 報 誌	—	下田幸子			
		広報・公共 イメージ・WEB	—	原口昌夫			

常任委員長 塩月啓司

運営方針

- <会員向け> 週報、HP、情報誌の紹介により情報共有を図ります。
事務処理、記録など、デジタル化を推進します。
- <外部向け> 当クラブの活動を各委員会と連携し、情報を発信することにより、ロータリークラブのイメージアップを図ります。

活動計画

- ・HPの情報更新と充実を図ります。
- ・週報の内容をより充実した内容にします。
- ・ロータリーの友、月信の掲載を会員に周知し、当クラブの活動に活かします。
- ・会員、事務局業務のオンライン化を図ります。

達成目標

クラブ活動の活性化が図れるような情報発信を行います。

週報 担当 塩月啓司

運営方針

週報の刊行によって、会員に対しクラブへの関心を促し活発な活動に寄与します。

活動計画

- ・本日の例会、前回の例会、次週の例会、ニコニコ、出席状況、理事会報告、コラム欄（最終ページ）の区分を整理して表記します。
- ・親睦事業、同好会、炉辺会合等のクラブ外活動内容を掲載し会員間の親睦を図ります。
- ・例会時の写真撮影を的確に行います。
- ・外部活動、その他の活動記録、写真を掲載します。

達成目標

- ・常に見やすさを追求します。
- ・誤植、訂正の削減。

情報誌 担当 下田幸子

運営方針

「ロータリーの友」「月信」の重要な情報、記事を会員に周知することで各委員会、会員の活動が活発となるような運営を行います。

活動計画

情報誌の価値、良さを理解していただける卓話を行います。

達成目標

情報誌の情報、記事を会員に理解してもらうことで、クラブ活動の活発化を図ります。

広報・公共イメージ・WEB 担当 原口昌夫

運営方針

会員間の交流、情報共有、コミュニケーションを活性化させます。

外部に対する情報発信を活性化させ、ロータリーのイメージアップに貢献します。

会員増強に繋がる活動を行います。

活動計画

HPの更新を活発に行います。

LINEによる会員同士の交流、情報共有、コミュニケーションを活発化させます。

MyRotaryの登録と使用の推進を図ります。

達成目標

HPのトピックスを毎月1つ以上掲載します。

LINEのグループを炉辺別に担当者を決めて作成します。

会員全員のLINEは一つに絞ります。

MyRotaryのRCセントラルの入力、更新を行います。

MyRotaryの解説を定期的に行います。

奉仕委員会

常任委員会	常任委員長	特定分野委員会 担 当	特定分野委員長	副委員長 担 当	委 員		
奉 仕	前田健吾	職業奉仕	馬場宣行	宮原博幸	萩尾紘一	堀 悠祐	
		社会奉仕	森田正嗣	武宮兼敏	圓藤泰久		
		青少年奉仕	前田健吾	堀 悠祐	長井士郎		
		国際奉仕	西中義桂	牧田 隆	新田光太郎		

常任委員長 前田健吾

運営方針

ロータリークラブの活動の根幹である奉仕の精神をもって活動します。
職業、社会、青少年、国際の四つの特定分野委員会と常に情報共有しながら活動していきます。

活動計画

1. 会長・幹事の方針を各委員長に伝達します。
2. 各特定分野委員会が会長・幹事及び理事会の指導にしたがい計画に沿った活動ができるよう連絡・調整を行います。
3. 特定分野委員会同士の懇親を図ります。

達成目標

各特定分野委員会が活動計画どおり100%達成できるよう努めます。

職業奉仕委員長 馬場宣行

運営方針

日々の仕事を通じて地域に貢献するために、奉仕の心を育て向上させます。

活動計画

1. 四つのテストの唱和を会員に順番で行っていただきます。
2. 職場訪問例会を実施致します。
3. 地域貢献職場表彰、従業員褒賞を行います。
4. 健康維持・増進を目的とした健康例会を行います。

達成目標

四つのテストを念頭に置きながら、上記を行うように致します。

社会奉仕委員長 森田正嗣

運営方針

標準定款第6条の精神に基づき、地域が希望を見い出せるような社会奉仕活動を行っていきます。

活動計画

1. 石楠花植樹祭（竈門神社 3月）
2. 九博桜の応援事業（4月）
3. クリーンアップ大作戦（年1回）
4. ロータリー財団補助金事業（中学生対象フリースクール「一社共有ネット」の活動補助）
5. 他団体への後援・協賛
（①天満宮菊花展②九州国立博物館③筑紫地区防犯協会④NPOエスペランサ）
6. 「守ろう宝満山の自然」作品展

達成目標

100%達成を目指します。

青少年奉仕委員長 前田健吾

運営方針

次世代を担う青少年

活動計画

- ①インターアクト例会に多くの会員に参加するよう計画します。
- ②ライラセミナーへの参加呼びかけ、並びに実施後例会にて報告します。
- ③筑紫地区少年愛護連盟への援助及び表彰式への参加
- ④交換留学生受け入れ準備（ホストファミリーの確保）
- ⑤その他 活動実施

達成目標

筑陽学園高校、顧問教師と連携し、インターアクトが自主性を持ち社会貢献活動が実施できるようにします。会員一人一人の青少年育成の意識を向上します。

運営方針

国際奉仕は、国際プロジェクトにおけるボランティア又海外パートナーと協同の活動を通じ平和と相互理解を推進するとともに当クラブの活動実績を検証し、ロータリーの理念に寄与するように努めます。

活動計画

1. 担当例会において、国際奉仕に関するクラブフォーラムとともに重点月間卓話を開催し会員に理解を深めてもらいます。
2. 曲水の宴に留学生、奨学生を招き、日本の伝統文化を感じてもらい、平和と相互理解を推進します。
3. 財団米山と協力し、奨学生に対するサポートを行い、ロータリー活動の意義を感じてもらい、もって平和と相互理解に寄与するように努めます。

達成目標

臨機応変に対応し、活動実績100%を目指します。

財団・米山委員会

常任委員会	常任委員長	特定分野委員会 担 当	特定分野委員長	副委員長 担 当	委 員		
財団・米山	田代雅人	Rotary財団	—	田代雅人			
		補助金PJ・ポリオ	—	下田幸子			
		米山奨学会	—	鬼木信乃夫			

常任委員長 田代雅人

運営方針

Rotary財団・補助金PJ・ポリオ・米山奨学会の委員会で協力して活動します。

活動計画

財団・米山委員会の3委員会で協力し、お互いの委員会活動に相乗効果があるようなプログラムを実施したい。

達成目標

Rotary財団 担当 田代雅人

運営方針

寄付の意義をクラブ会員に伝えます。

活動計画

- ・地区目標 年次基金150ドル/人 ポリオ30ドル/人 合計 180ドル/人の啓蒙
- ・PHS、PPSの会員数の推進。
- ・財団月間には、地区委員会や他クラブからの卓話者をお招きし、啓発活動を行います。
- ・財団・米山委員会の3委員会での活動。

達成目標

補助金PJ・ポリオ 担当 下田幸子

運営方針

ロータリー財団の運営方針に基づき、地域補助金事業の推進とポリオ根絶活動への支援を行います。

活動計画

ポリオ根絶活動計画を広報を通じて広め、あわせて寄付金活動を推進します。

達成目標

地区補助金事業の推進にあわせ、ポリオプラス寄付を実行します。

米山奨学会 担当 鬼木信乃夫

運営方針

ロータリー米山記念奨学会の事業を、会員全員でサポートしていく環境を作ること。

活動計画

1. 10月の米山月間に奨学生の卓話を実施します。
2. 3月の太宰府天満宮での「曲水の宴」に奨学生を招待します。
3. 例会に奨学生を招き、会員との交流を促進します。

達成目標

出来るだけ多くの会員にロータリー米山記念奨学会の事業を理解して頂き、寄付につなげること。

長期計画委員会

常任委員会	常任委員長	特定分野委員会 担 当	特定分野委員長	副委員長 担 当	委 員		
長 期 計 画	阿部隆雄	—	—		影山裕樹	福田隆一	井上孫紹
					用松信彦	有村康博	神代憲暁

運営方針

将来安定したクラブ運営ができるよう、人事、会員増強等の計画を検討してまいります。

活動計画

前年に続き会員増強と連携し、拡大に向け早急に50人体制を目指します。

研修リーダーと連携し、新会員の研修、懇談を行い、理解を深めます。

安定した事務局運営の整備計画を立てます。

達成目標

活動計画の実行。

ロータリークラブにおける「職業分類基準表」について

ロータリーの活動において、会員各々の職業の分類作業は大変、重要なものであると考えております。この職業分類は、会員増強の効率的な実施のため、会員の職業奉仕意識の向上、クラブ全体としての社会貢献度の向上等の観点から、この「職業分類基準表」を的確に作成する必要があります。

しかしながら国際ロータリーにも日本のロータリーにも基準となる公式な職業分類表は存在しません。従って、各クラブが独自の職業分類表を作成し、新入会員が入会した場合は、ほぼ本人の意向に沿った分類に当てはめる手法となっており、前述の目的を果たしているとは、考えにくいものとなっています。

国の機関（総務省、厚生労働省、経済産業省等）の職業分類は、職業従事者の分類であり、企業、法人や有資格による職業のものではなく、個人の職業分類となっており、ロータリーの分類として活用するには相応しくありません。

ネット上で調査したところ、I R 2680 地区が 1975 年に作成し、1987 年に改正した「職業分類基準表」をその 10 年後、おそらく 1990 年代に後半に再改正したものがあり、これが一番、理想に近いものであると感じました。

これを基に、大区分、中区分、小区分を今の時代に即したものにし、大きく簡略化したものを作成し、現在の太宰府ロータリークラブの会員の職業をこれに当てはめる作業を行いました。これをみなさんと共に、時間をかけて、加筆、修正をすすめていきたいと思っています。

今回、作成した「職業分類基準表」は、「大区分」「中区分」「小区分」と「クラブが認定した区分」の 4 段階で表記しています。常に変化する社会情勢に伴って、各区分の修正とクラブ認定の分類の修正を繰り返し行う事で、望ましい意義ある分類表になっていけばと、考えています。皆様のご協力をお願い申し上げます。

今後、以下の加筆、修正を行っていきます。

- ① 大区分、中区分、小区分の見直し
- ② 既会員の分類の整備
- ③ 新入会員のクラブでの認定

会員の職業分類を決定する手順は、以下の通りとします。

- ① 本人が主張する職業分類の確認
- ② 大区分、中区分、小区分の選択をする
- ③ 「クラブが認定した区分」を決定する。

出来る限り、小区分（もしくは中区分）とクラブ認定の区分が一致することが望ましいが、本人が主張するものを「クラブが認定した区分」としてもよい。

職業分類担当が①②③を会員本人と調整し、判断をして、会員基盤委員長と協議し、決定する。その後、委員長が理事会へ報告する。

2024-25 年度 太宰府 R C
会員基盤委員会 職業分類担当

太宰府RC「職業分類基準表」 2024-25年度

大区分	中区分	小区分	クラブ認定	会員	備考
1 医療	1 医師	1 内科			
1 医療	1 医師	2 外科	外科	間野正衛	
1 医療	1 医師	3 眼科	眼科	鬼木信乃夫	
1 医療	1 医師	4 小児科			
1 医療	1 医師	5 耳鼻咽喉科			
1 医療	1 医師	6 産婦人科			
1 医療	1 医師	7 皮膚科			
1 医療	1 医師	8 整形外科			
1 医療	1 医師	9 心療内科			
1 医療	2 歯科医師				
1 医療	3 薬剤師		調剤薬局	時札正文	
1 医療	4 理学療法士				
1 医療	5 その他				
2 有資格業	1 弁護士		弁護士事務所	浦田秀徳	
2 有資格業	2 税理士		税理士事務所	有村康博	
2 有資格業	3 会計士				
2 有資格業	4 司法書士		司法書士	西中義柱	
2 有資格業	5 弁理士				
2 有資格業	6 行政書士		行政書士	森田正嗣	
2 有資格業	7 公証役場				
3 学術文化	1 教育	1 大学			
3 学術文化	1 教育	2 高等学校	高等学校		
3 学術文化	1 教育	3 中学校	中学校	新田光太郎	
3 学術文化	1 教育	4 小学校			
3 学術文化	1 教育	5 幼稚園			
3 学術文化	1 教育	6 保育所	保育所	井上孫紹	
3 学術文化	1 教育	7 その他			
3 学術文化	2 宗教	1 神道	神道	馬場宣行	
3 学術文化	2 宗教	2 仏教			
3 学術文化	2 宗教	3 キリスト教			
3 学術文化	2 宗教	4 その他			
3 学術文化	3 団体	1 NPO法人	NPO法人	今村次美	
4 農林水産業	1 農業				
4 農林水産業	2 林業				
4 農林水産業	3 水産業				
5 製造業	1 化学工業				
5 製造業	2 木材工業				
5 製造業	3 機械・器具				
5 製造業	4 精密機器				
5 製造業	5 自動車				
5 製造業	6 金属・鋳業				
5 製造業	7 食品工業・食料品				
5 製造業	8 繊維工業・衣料品				
5 製造業	9 化粧品		化粧品製造販売	東 龍児	
6 卸売業	1 生活用品				
6 卸売業	2 事務用品				
6 卸売業	3 貴金属・時計		貴金属時計宝石小売業	堀 悠祐	
6 卸売業	4 繊維工業・衣料品				
6 卸売業	5 医療機器		医療機器卸売業	萩尾紘一	
6 卸売業	6 植物		花き卸売市場	西川 勲	
6 卸売業	7 衣料		制服・衣料品販売	藤井俊雄	
6 卸売業	8 呉服		呉服小売業	中西英貴	
6 卸売業	8 呉服		呉服小売業	吉田知子	
6 卸売業	9 食品				
6 卸売業	10 酒類				
6 卸売業	11 飲料				
6 卸売業	12 スポーツ用品		スポーツ用品小売業	武宮兼敏	
6 卸売業	13 工芸品				
7 流通	1 商社				
7 流通	2 百貨店				
7 流通	3 量販店				
7 流通	4 コンビニ				
7 流通	5 インターネット販売				

太宰府RC「職業分類基準表」 2024-25年度

大区分	中区分	小区分	クラブ認定	会員	備考
8	運輸	1 バス			
8	運輸	2 タクシー			
8	運輸	7 倉庫			
8	運輸	3 貨物自動車			
8	運輸	4 郵便・宅配			
8	運輸	5 海運			
8	運輸	6 空輸			
9	IT産業	1 情報システム			
10	エネルギー	1 天然ガス	都市ガス業	前田健吾	
10	エネルギー	2 プロパンガス	プロパンガス(LPガス)	寺崎盛行	
10	エネルギー	3 電力			
10	エネルギー	4 ガソリン			
10	エネルギー	5 再生可能エネルギー			
10	エネルギー	6 その他			
11	建設	1 総合建設業			
11	建設	2 専門工事業	1 建築工事業	建設業	永田 剛
11	建設	2 専門工事業	2 住宅・設備		
11	建設	2 専門工事業	3 内装工事業		
11	建設	2 専門工事業	4 ガラス工業		
11	建設	2 専門工事業	5 土木工事業	土木工事業	塩月啓司
11	建設	2 専門工事業	6 管工事業		
11	建設	2 専門工事業	7 造園工事業	造園業	神代憲暁
11	建設	2 専門工事業	7 造園工事業	造園業	宮原博幸
11	建設	2 専門工事業	8 電気工事業	電気工事業	谷川寛光
11	建設	2 専門工事業	9 その他		
11	建設	3 設計・コンサルタント	1 建築設計事務所		
11	建設	3 設計・コンサルタント	2 土木設計事務所		
11	建設	3 設計・コンサルタント	3 その他コンサル		
11	建設	4 建設機械関係		建設機械レンタル業	牧田 隆
11	建設	5 建設資材関係		配管材料卸売業	用松信彦
11	建設	6 土地家屋調査			
11	建設	7 測量			
12	不動産	1 不動産売買・賃貸	不動産売買・賃貸	不動産業	小柳壮司
13	不動産	2 不動産売買・賃貸	不動産売買・賃貸	不動産賃貸業	圓藤泰久
12	不動産	2 不動産コンサル	不動産コンサルタント	不動産コンサルタント業	福田隆一
13	金融	1 金融	1 銀行		
13	金融	2 保険	2 生命保険		
13	金融	3 保険	3 損害保険		
13	金融	3 保険	4 保険代理店	保険業	川添廣志
13	金融	3 保険	4 保険代理店	保険代理店	原口昌夫
13	金融	4 証券	5 証券		
14	サービス業	1 旅館		旅館業	外木場大倫
14	サービス業	2 ホテル		ビジネスホテル業	岡本ゆかり
14	サービス業	3 飲食業		日本料理店	満永淳子
14	サービス業	3 飲食業		焼肉店	石井昌憲
14	サービス業	4 給食受託業		給食受託	阿部隆雄
14	サービス業	5 印刷・出版		印刷業	田代雅人
14	サービス業	6 写真		商業写真	上田 宰
14	サービス業	7 広告			
14	サービス業	8 娯楽・スポーツ	1 ゴルフ場		
14	サービス業	8 娯楽・スポーツ	2 スポーツジム		
14	サービス業	8 娯楽・スポーツ	3 ゲームセンター		
14	サービス業	8 娯楽・スポーツ	4 パチンコ店		
14	サービス業	8 娯楽・スポーツ	5 その他		
14	サービス業	9 福祉	1 老人福祉施設	有料老人ホーム	三條裕士
14	サービス業	9 福祉	2 介護事業		
14	サービス業	9 福祉	3 障がい者施設		
14	サービス業	10 日用品レンタル	1	物品賃貸業	長井士郎
14	サービス業	11 清掃用品レンタル	1	清掃用品レンタル業	影山裕樹
14	サービス業	12 冠婚葬祭業			
14	サービス業	13 新聞・放送			
14	サービス業	14 芸術			
14	サービス業	15 人材派遣業			
15	サービス業	16 その他		産業廃棄物運搬業	下田幸子
20	農林水産業	1 水産養殖業	1	川魚養殖卸売販売業	廣松正道

2024-25年度 太宰府ロータリークラブ 年間行事予定表

33例会+4夜間例会

月	7月				8月				9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月				4月				5月				6月								
例会日	2	9	16	23	30	6	13	20	27	3	10	17	24	1	8	15	22	29	5	12	19	26	3	10	17	24	31	7	14	21	28	4	11	18	25	4	11	18	25	1	8	15	22	29	6	13	20	27	3	10	17	24	
クラブ全般	会長・幹事 就任挨拶	運営方針発表	運営方針発表・会計	卓話(ボリオ)	休会	卓話(会員増強)	休会	卓話(クラブ協議会(G補佐))	ガバナー公式訪問	卓話(会報・広報)	卓話(青少年奉仕)	休会	休会	卓話(会員増強)	卓話(社会奉仕)	休会	3クラブ合同夜間例会	卓話(米山)	休会	卓話(補助金・ボリオ)	卓話(プログラム)	卓話(R財団)	健康例会	年次総会・上半期報告	夜間例会(忘年家族懇親会)	休会	休会	休会	初詣例会	卓話(会報・広報)	職場訪問例会	卓話(国際奉仕)	休会	休会	卓話(職業奉仕)	休会	卓話(青少年奉仕)	夜間例会	休会	休会	IM報告会	卓話(ロータリー情報)	PETS報告	委員会引継ぎ	卓話(衛星クラブについて)	休会	休会	卓話(ライラ報告)	委員会活動報告1	委員会活動報告2	夜間例会	会長・幹事 退任あいさつ	休会
理事会																																																					
活動月間	RI 活動月間	【母子の健康月間】 新役員就任				【会員増強・新クラブ 結成月間】				【基本的教育と 識字率向上月間】 ロータリーの友月間				【地域社会の経済発展月間】 米山月間				【ロータリー財団月間】 4-10日 世界インターアクト週間				【疾病予防と治療月間】				【職業奉仕月間】				【平和構築と 紛争予防月間】				【水と衛生月間】				【環境月間】				【青少年奉仕月間】				【ロータリー親睦活動 月間】							
地区行事 他	13日 クラブ活性化セミナー 28日 RLI研修 - Part1				18日 RLI研修 - Part2 24日 地区危機管理セミナー				1日 RLI研修 - Part3 7日 地区補助金セミナー 14日 次年度G補佐会議												19日 RLI研修 - Part1				9日 RLI研修 - Part2 23日 RLI研修 - Part3				22日 IM 29,30日 PETS				11日 親睦ゴルフ 12,13日 地区大会				11日 創立記念日																
担当 例会区分	例会区分	CA	CA	CA	CF	CF		CF/CA	CA	CF	CF			CF	CF		親睦	CF		CF	CF	CF	CF	CA	親睦			CA	CA	CF	CA		CA		CA	親睦	CF	CF	CF	CA	CF	CF	CA	CF	CF	CF	CF	CF	CF	親睦	CA		
親睦	担当委員会 & テーマ	9,16日 各運営方針発表 23日 財団・米山				6日 会員増強 20日 クラブ運営(SAA)				3日 会報・広報 10日 青少年奉仕				1日 会員増強 8日 社会奉仕 29日 財団米山				12日 補助金・ボリオ 19日 プログラム 26日 財団米山				14日 初詣例会 21日 会報・広報 28日 職場訪問例会				4日 国際奉仕 18日 職業奉仕				4日 青少年奉仕				1日 ロータリー情報 8日 PETS報告 15日 委員会引継ぎ 22日 衛星クラブ卓話				13日 青少年奉仕 20日 ライラ報告 27日 活動報告(1)				3日 活動報告(2) 17日 会長幹事退任挨拶											
親睦										22日 3クラブ合同夜間例会								17日 忘年家族懇親会								11日 夜間例会								10日 夜間例会																			
クラブ運営	S・A・A																																																				
出席	9日 運営 方針 発表																																																				
親睦	3クラブ合同例会 企画・準備																																																				
プログラム																																																					
会員基盤	会員増強																																																				
会員選考	9日 運営 方針 発表																																																				
職業分類																																																					
会員研修																																																					
Rotary情報																																																					
会報・広報	週報																																																				
情報誌	9日 運営 方針 発表																																																				
広報・WEB																																																					
公共イメージ																																																					
奉仕	職業奉仕																																																				
社会奉仕	16日 運営 方針 発表																																																				
青少年奉仕																																																					
国際奉仕																																																					
財団・米山	Rotary財団																																																				
補助金PJ・ボリオ	16日 運営 方針 発表																																																				
米山奨学会																																																					
会計	16日 前年度 決算報告 前年度 会計監査報告																																																				
幹事	10/17 合同ゴルフコンペ																																																				
説明	印は例会の担当。常任委員会の中で、適宜変更可 各委員会は、活動の状況を例会で報告してください	次年度準備				次年度役員指名委員会				10日 次年度理事役員指名																8日 PETS報告 15日 委員会引継ぎ 次年度運営方針提出依頼				17日 地区研修協議会																							

太宰府ロータリークラブ 2024-25 予算書

収入の部

勘定科目	単価	数量		計	摘要	入金先
1. 前年度繰越金				2,353,618		クラブ
2. 入会金	70,000	5	人	350,000		新入会員
3. 会費	180,000	47	人	8,460,000		会員
3. 特別会費 ※1	35,623	47	人	1,674,281		会員
4. 交換留学生						
(1)クラブ	6,000	47	人	282,000		クラブ
(2)地区	23,500	12	ヶ月	282,000		地区
(3)17RC	700,000	1	式	700,000		17RC基金
5. 寄付						
(1)R財団(個人)	155,000	4	人	620,000		会員
(2)ポリオプラス(個人)	77,500	1	式	77,500		会員
(3)米山奨学会(個人)	400,000	1	式	400,000		会員
6. 米山奨学金	140,000	12	ヶ月	1,680,000	2024.8~2025.7月分	米山奨学会
7. ビジター費	2,500	20	人	50,000		ビジター
8. ニコニコ箱	1,000,000	1	式	1,000,000		会員他
9. 百万ドル	475,200	1	式	475,200	@990×12ヶ月×50人×出席80%	会食費
10. 雑収入	0	1	式	0		諸口
合計				18,404,599		

前年決算額	差異
2,046,441	307,177
140,000	210,000
8,220,000	240,000
1,565,390	108,891
0	0
0	282,000
0	282,000
0	700,000
0	0
678,937	(58,937)
156,913	(79,413)
421,497	(21,497)
1,680,000	0
55,000	(5,000)
930,928	69,072
486,090	(10,890)
21,778	(21,778)
16,402,974	2,001,625

※1 特別会費 内訳 うち交換留学生受入資金は別途 4(1)へ計上

	前期	後期	計	
RI人頭分担金	6,084	6,084	12,168	※@39.25×レート155
RI人頭分担金(規定審議会)	155	0	155	※@1×レート155
ロータリーの友	1,650	1,650	3,300	※@275×12
周年積立金	5,000	5,000	10,000	
地区大会分担金	5,000	5,000	10,000	
交換留学生受入資金	6,000		6,000	
特別会計-単価			41,623	

支出の部

勘定科目	単価	数量		計	摘要	支出先
1. 委員会活動費					※委員会活動費内訳 参照	
(1)クラブ運営		1	式	440,290		諸口
(2)会員基盤		1	式	343,200		諸口
(3)会報・広報		1	式	182,800		諸口
(4)奉仕		1	式	1,403,210		諸口
(5)財団・米山		1	式	81,105		諸口
(6)長期計画		1	式	73,000		諸口
1.-小計				2,523,605		
2. 寄付関連費						
(1)R財団(クラブ一括)	7,750	47	人	364,250	@50ドル×レート155円	R財団
R財団(個人)	155,000	4	人	620,000	@1,000ドル×レート155円	R財団
(2)ポリオプラス(クラブ一括)	3,000	47	人	141,000		R財団
ポリオプラス(個人)	77,500	1	式	77,500	@500ドル×レート155円	R財団
(3)米山奨学会-普通寄付金	8,000	47	人	376,000	@4,000×2回(前期・後期)	米山奨学会
米山奨学会-特別寄付金	400,000	1	式	400,000		米山奨学会
(4)その他寄付	0	1	式	0		
2.-小計				1,978,750		
3. 留学生・奨学生関連費						
(1)交換留学生	1,282,000	1	人	1,282,000		交換留学生
(2)米山奨学金	140,000	12	ヶ月	1,680,000		米山奨学生
3.-小計				2,962,000		
4. 地区・RI関連費						
(1)-①地区大会分担金	10,000	47	人	470,000		地区
(1)-②地区資金	10,000	47	人	470,000		地区
(1)-③17RC交換学生基金	3,000	47	人	141,000		地区
(1)-④国際青少年交換資金	1,500	47	人	70,500		地区
(1)-⑤地区奉仕プロジェクト資金	1,000	47	人	47,000		地区
(1)-⑥RIJYEM維持協力金	200	47	式	9,400		地区
(1)-⑦登録料	160,000	1	式	160,000	IM、PETS、地区研修協議会	地区
(2) 地区委員費用	20,000	5	人	100,000		地区委員
(3)-①RI人頭分担金	12,168	47	人	571,896	@39.25ドル(レート155円)×2	RI
(3)-②規定審議会 特別分担金	155	47	人	7,285	@1ドル(レート155円)	RI
(4)-①ガバナー月信	1,300	47	人	61,100	@100×13回	地区
(4)-②ロータリーの友	3,300	47	人	155,100	@275×12冊	友事務所
4.-小計				2,263,281		
5. 一般管理費						
(1)会長幹事費	210,000	1	式	210,000		諸口
(2)事務局費-①人件費	4,064,000	1	式	4,064,000	給与、退職関係金	事務局
(2)事務局費-②借室費	360,000	1	式	360,000	大丸別荘@30,000×12ヶ月	例会場
(3)システム関連費	107,800	1	式	107,800	クラブ管理システム(年間)	諸口
(4)例会費-①会食費	2,604,800	1	式	2,604,800	@2,035×32回×50名×出席80%	例会場
(4)例会費-②例会会場費	100,000	1	式	100,000	初詣例会初穂料	例会場
(5)会議費	30,000	1	式	30,000		諸口
(6)印刷費-①外注	270,000	1	式	270,000	運営方針書91,300円、年報97,900円、地区名簿60,000円、出席封筒13,200円他	諸口
(6)印刷費-②コピー他	100,000	1	式	100,000	リース@17,600、コピーカウント	諸口
(7)備品費-①事務用品	35,000	1	式	35,000		諸口
(7)備品費-②その他備品	35,000	1	式	35,000		諸口
(8)通信費	325,000	1	式	325,000	NTT西日本、NTTドコモ、郵便	諸口
(9)慶弔費	200,000	1	式	200,000		諸口
(10)雑費	200,000	1	式	200,000		諸口
(11)予備費	200,000	1	式	200,000		諸口
5.-小計				8,841,600		
A. 収入計				18,404,599		
B. 支出計(1~5-計)				18,569,236		
C. 収支(A-B)				-164,637		
D. 周年行事積立金	700,000	1	式	700,000		クラブ
E. 事務局関係準備金				0		
F. 奉仕基金繰入				0		
G. クラブ基金繰入				0		クラブ
G. 次期繰越金(C-D-E-F-G)				-864,637		

前年決算額	差異
308,135	132,155
117,590	225,610
79,065	103,735
1,030,101	373,109
23,000	58,105
35,823	37,177
1,593,714	929,891
679,500	(315,250)
678,937	(58,937)
135,000	6,000
156,913	(79,413)
364,000	12,000
421,497	(21,497)
0	0
2,435,847	(141,847)
0	1,282,000
1,680,000	0
1,680,000	0
450,000	20,000
455,000	15,000
92,000	49,000
68,250	2,250
45,500	1,500
9,100	300
92,500	67,500
38,390	61,610
496,688	75,208
6,670	615
59,300	1,800
152,075	3,025
1,965,473	297,808
154,000	56,000
1,212,000	2,852,000
360,000	0
107,800	0
2,718,089	(113,289)
100,000	0
7,550	22,450
267,300	2,700
82,469	17,531
33,976	1,024
3,491	31,509
208,980	116,020
224,180	(24,180)
136,487	63,513
58,000	142,000
5,674,322	3,167,278
16,402,974	2,001,625
13,349,356	5,219,880
3,053,618	(3,218,255)
700,000	0
0	0
0	0
0	0
2,353,618	(3,218,255)

太宰府ロータリークラブ 2024-25 予算書

委員会活動費-内訳

1/2

勘定科目	単価	数量		計	摘要	支出先	前年決算額	差異
1. クラブ運営								
(1)SAA								
テーマ幕	22,000	1	式	22,000			22,000	0
ニコニコ大賞	1,100	12	回	13,200			12,000	1,200
ニコニコ年間大賞	5,500	1	個	5,500			4,500	1,000
ネームプレート	660	5	個	3,300			2,310	990
会場備品代				0			0	0
(2)出席								
100%出席記念品	35,000	1	式	35,000			7,500	27,500
皆出席表彰	50,000	1	式	50,000			39,105	10,895
(3)親睦								
誕生日会	4,070	47	人	191,290			182,380	8,910
友好クラブ	50,000	1	式	50,000			8,000	42,000
(4)プログラム								
卓話	10,000	2	回	20,000			20,000	0
(1)-(4)クラブ運営-共通費								
セミナー会議費	6,000	2	回	12,000			0	12,000
委員会活動費補助	2,000	14	人	28,000			6,000	22,000
予備費	10,000	1	式	10,000			4,340	5,660
1. クラブ運営-計				440,290			308,135	132,155

2. 会員基盤								
(1)会員増強								
セミナー登録	6,000	1	式	6,000			0	6,000
炉辺会合費補助	2,000	47	人	94,000			64,000	30,000
月間卓話	10,000	3	回	30,000			10,000	20,000
入会式関係	3,300	5	回	16,500	入会式花束		6,600	9,900
(2)会員選考								
会員候補者例会招待食事代	2,035	10	人	20,350			0	20,350
(3)職業分類								
新会員配布用冊子	1,000	5	人	5,000			0	5,000
会員名簿作成費	700	80	冊	56,000	ポケットサイズ会員名簿新規作成		0	56,000
(4)会員研修								
会員研修費	2,500	14	人	35,000			0	35,000
(5)Rotary情報								
月間卓話	10,000	1	回	10,000			10,000	0
新入会員講習会	3,025	14	人	42,350	3年未満会員・役員		22,990	19,360
(1)-(5)会員基盤-共通費								
委員会活動費補助	2,000	9	人	18,000			0	18,000
予備費	10,000	1	式	10,000			4,000	6,000
2. 会員基盤-計				343,200			117,590	225,610

3. 会報・広報								
(1)週報								
週報作成費	65,000	1	式	65,000	印刷@24×55枚×36回、用紙代		51,650	13,350
(2)情報誌								
ロータリーの友配布費	275	72	冊	19,800	6ヶ所×12ヶ月分		19,800	0
(3)広報・公共イメージ・WEB								
HP維持費	50,000	1	式	50,000			7,615	42,385
(1)-(3)会報・広報-共通費								
月間卓話	10,000	2	回	20,000			0	20,000
委員会活動費補助	2,000	6	人	12,000			0	12,000
セミナー登録料	3,000	2	回	6,000			0	6,000
予備費	10,000	1	式	10,000			0	10,000
3. 会報・広報-計				182,800			79,065	103,735

4. 奉仕							
(1)職業奉仕							
職場訪問謝礼	10,000	1	回	10,000		0	10,000
社員表彰	5,000	4	人	20,000	優良社員表彰	0	20,000
月間卓話	10,000	2	回	20,000	卓話、健康例会	0	20,000
(2)社会奉仕							
石楠花植樹	40,000	1	式	40,000	苗木料20,000円、食事代20,000円	30,000	10,000
クリーンアップ作戦	5,000	1	式	5,000	お茶・軍手等	3,158	1,842
R財団補助金事業	300,000	1	回	300,000		240,000	60,000
月間卓話	10,000	1	回	10,000		10,000	0
豊かな自然プロジェクト	200,000	1	回	200,000		100,000	100,000
ロータリー奉仕デー	75,000	1	式	75,000	募金用Tシャツ、お茶代	0	75,000
(3)青少年奉仕							
IAC関連事業	300,000	1	式	300,000		308,718	(8,718)
ライラ	7,035	6	人	42,210	登録料・食事代	30,225	11,985
月間卓話	10,000	3	回	30,000		10,000	20,000
(4)国際奉仕							
曲水の宴に留学生を招く会	142,000	1	式	142,000	初穂料70,000円、食事代@1,800×40名	134,000	8,000
月間卓話	10,000	1	回	10,000		0	10,000
(1)-(4)奉仕-共通費							
セミナー登録料	6,000	2	式	12,000		0	12,000
委員会活動費補助	2,000	12	人	24,000		16,000	8,000
後援・会費・賛助	153,000	1	式	153,000	10団体	143,000	10,000
予備費	10,000	1	式	10,000		5,000	5,000
4. 奉仕-計				1,403,210		1,030,101	

5. 財団・米山							
(1)Rotary財団							
クラブ内啓発活動	10,000	1	式	10,000		0	10,000
卓話謝礼	10,000	2	回	10,000		0	10,000
(2)補助金PJ・ポリオ							
卓話謝礼	10,000	1	回	20,000		0	20,000
(3)米山							
卓話謝礼	10,000	1	回	10,000		6,000	4,000
奨学生食事代	2,035	3	人	6,105	奨学生3名例会招待	0	6,105
(1)-(3)財団・米山-共通費							
委員会活動費補助	2,000	3	人	6,000		12,000	(6,000)
セミナー登録料	3,000	3	回	9,000		5,000	4,000
予備費	10,000	1	式	10,000		0	10,000
5. 財団・米山-計				81,105		23,000	58,105

6. 長期計画							
会議費	21,000	3	回	63,000	@3,000×7名	35,823	27,177
予備費	10,000	1		10,000		0	10,000
6. 長期計画-計				73,000		35,823	37,177

委員会活動費-合計 2,523,605

1,593,714 929,891

四つのテスト

～ 言行は これに照らしてから ～

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか